

分解組立型バックホウの分解組立点検を実施しました

関東技術事務所では、地震等により河道閉塞が発生し、道路が寸断され陸路による運搬が行えず空輸に頼らざるを得ない状態での、迅速な復旧作業に備え空輸可能な「分解組立型バックホウ」を導入しています。

今回は昨年度導入後、初めて分解組立点検を実施しました。

- ◆実施日 : 平成26年2月3日(月)～7(金)
分解点検 2日間
再組立点検 3日間
- ◆場所 : 船橋防災センター(船橋市東船橋5-2-1)
- ◆点検業者 : 日立建機日本(株)



①作業前



②25tラフターによる分解作業



③14分割分解後



④ミニクレーン2台による再組立作業

実施しての感想

- 災害現場を想定し敷鉄板なしで分解組立を実施したので、組立効率への支障を懸念していましたが、地盤が平坦で適度な強度があれば問題ない事が分かりました
- ミニクレーンは想定以上に作業半径が小さく、設計上の作業半径で計画通りに作業しても、実際には地盤状況等の影響により過負荷で吊れない部位が多々ありました。そのため災害現場では各部位をシビアに配置及び、地盤の平坦性の必要性を痛感しました。

今回の分解組立によって得られたノウハウを、「分解組立マニュアル」にまとめ、今後の災害出動に備えていきます。